



自然観察サークルの12月の定例会では、身近な植物を使ってクリスマスやお正月に飾るリースを作りました。生い茂っていたクズの蔓(つる)を取ってリース作りの材料にしました。リースはクズの蔓で作ったわっかにスギの葉を飾って作りました。

甘樫丘の豊浦休憩所に集合して、午前中は植物観察をしながらクズの蔓を集めました。スギの葉は枝打ちしたスギの葉をもらってきました。

午前中の植物観察



豊浦休憩所を出発



観察中



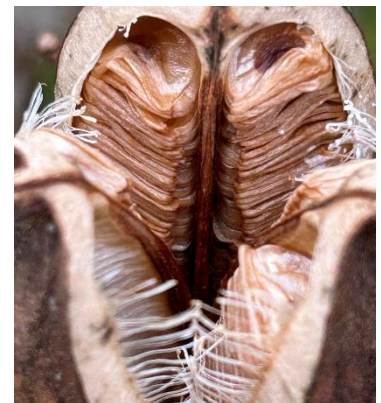
ウバユリ花柄の観察中



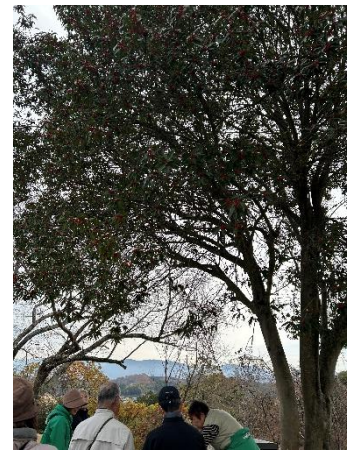
アジサイの花柄



ウバユリの花柄



ウバユリの花柄には種子がきれいに整頓されてびっしりと詰め込まれていました。花が咲いたウバユリはもう枯れてしまいます。命を受け継ぐのはこのびっしりときれいに並んでいる種です。自然の造形の美しさ素晴らしさには驚かされます。合理的で無駄がなく美しいのです。



園路4から園路5へ移動中。展望台へ。



展望台からの見晴らしがとっても良くなっていました。常緑針葉樹と常緑広葉樹が少なくなって、東には明日香村が一望でき、西を向けば橿原市が望めるようになっていました。展望台の雌雄のナミノキの大木がなお一層大きく感じられました。



展望台からクズが生い茂っているあんずの谷へ移動。ここでクズの蔓を採取。昼食後は集めてきた材料を使ってリース作りを始めました。





男性も女性も皆さん黙々とリース作りをしていました。それぞれ違ってそれぞれ美しく出来上がりました。



自然のものを使ってクリスマスや正月の飾りを作りました。蔓や木の葉を使っの「もの作り」は楽しくて、心が穏やかになっていくような気がしました。

楽しいひと時をみんなと一緒に過ごすことができ、笑顔いっぱい帰っていきました。



